令和3年度　自己評価結果公表シート　　吹田市立東佐井寺幼稚園

1.本園の教育目標

みんなの“わ”

・心身ともに、たくましい子どもを育てる
・自分で考え、自分の力でやってみようとする子どもを育てる
・豊かな感性をもち、表現する子どもを育てる
・自分も友達も大切にする子どもを育てる

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標計画

（1）努力目標「健康な体と心を育てるための手立てを考える」
（2）新しい生活様式を取り入れた、指導計画を立案する。
（3）特別支援教育の充実

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)努力目標について	A	保健指導を受けたことを職員間で共有し、ゲームや製作などいろいろな遊びを通じて、自分の体や朝ご飯などについて興味を持たせることができた。保護者へも啓発することで、共に考えることができた。
(2)教育課程の編成と指導計画	B	新しい生活様式を取り入れながら、子供たちの実情や、教師の願いのもと職員全員で、確認しながら指導計画を立案するように努めた。
(3)特別支援教育の充実	B	子供達を丁寧にみて、職員間での話し合いや子供の見取りを共有することで、同じ対応・指導・援助をすることができた。又、保護者への伝え方については、難しさを感じている。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	コロナ禍の中、子供の安全を一番に、そして、保育内容についても、改めてどのようなねらいをもって活動を進めるのか、職員間で共通認識をもって行うことができた。充分な参観は出来なかったが、担任が積極的に保護者に話をしたり、ブログで様子を知らせることができた。多様化する子供達への援助について、もっと学びを深めていきたい。

◎「3.4.」の評価結果の表示方法

A 十分達成されている　　B 達成されている
C 取り組まれているが、成果が十分でない　D 取組が不十分である。

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1.安全管理について	様々な災害、様々な時間帯を想定した訓練の実施や、園内の安全面の管理について見直し、検討する。
2.地域との連携	中学校ブロックで、授業体験を位置付けていただき、実施できたが、コロナ禍の中、地域との連携が難しかった。新しい生活様式を取り入れながら、地域の方々と進めていきたい。